



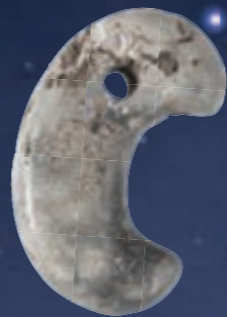
鷺巣前原遺跡出土 縄文土器

この土器は、特殊な形から注口土器と呼ばれています。液体を貯蔵し、注いだものと考えられています。



県指定文化財 目沼9号墳出土の鈴杏葉

鈴杏葉は、馬の後側にぶら下げる装飾馬具の一つです。同様のものが行田市の稲荷山古墳から出土しています。



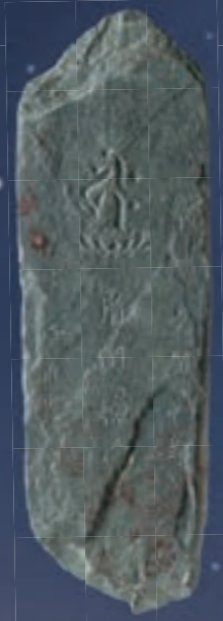
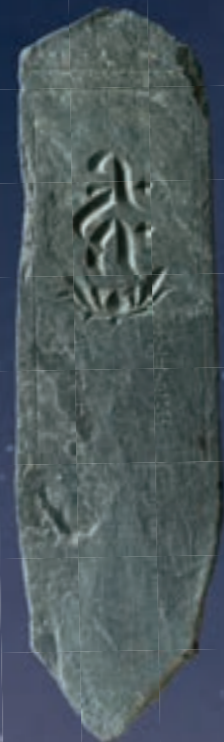
目沼23号墳出土 勾玉

この勾玉は蛇紋岩製で古墳の周溝から出土しました。



町指定文化財 杉内遺跡出土の板石塔婆

大量の板石塔婆が中世の井戸跡から出土しました。井戸の廃棄にかかわる儀式が行われたものと考えられます。



向台遺跡出土の土師器と須恵器 (奈良時代)

向台遺跡は、遠方から持ち込まれた遺物が多く見つかっています。掲載した遺物は、焼失した竈穴住居から重ねられた状態で出土しました。



目沼古墳群出土 盾持人埴輪

大きな盾を構え邪悪なものから古墳を守っていたのでしょうか？この埴輪は、この地域特有の雰囲気をもっています。(寄贈資料)



上椿(椿)遺跡出土 土師器 (古墳時代)

上椿遺跡は古墳時代前期から奈良～平安時代の集落遺跡です。中川低地では、古墳時代前期頃の集落遺跡はあまり見つかっていないので貴重な資料とされています。